

取組みのカテゴリ

労働安全教育

はさまれ・巻き込まれ対策

転倒対策

表彰制度

企業情報

所在地：千葉県

従業員：390名

背景

- 労働災害が頻発し、労働基準監督署より指導を受けたこと
- 指導をきっかけに外部機関での教育を受講し、社内の労働安全管理体制強化の必要性を痛感したこと

取組内容

1. 【従業員の安全意識向上のための教育】

- 受講率 100%達成を目標に安全教育を推進しています。
- まず、指導者の教え方にバラツキが出ないよう、教育内容の標準化を進めました。それを基に毎月1回、職場ごとに安全教育を実施しています。労働災害実績やヒヤリハットで講じた対策の都度、内容に反映しています。
- 結果的に指導者は教えやすく、受講者は分かりやすくなりました。こうした取り組みの継続で受講者だけでなく、教える側も再度学ぶことができ、安全の意識が身に付きました。受講率は、当初の85%から95%まで向上しています。

安全教育記録表（製品課）

業務内容： 作業②（製造機器）

作成日：2020/04/01
改定日：2020/10/01

受講日:

受講者:

教育者：

作業に関する事項

- ①原肉投入口のコンベアの巻き込みに注意する
- ②刃の周辺を清掃する際は必ずヘルメットを使用する
- カッターテーブル**
- ①端役の昇降の際は手掛りを握むこと
- ②スライサーから肉を移動する際、腰を控えるように注意する
- ③緊急停止ボタンの位置確認
- フレーカー**
- ①投入口のよから手を入れない
- ②肉排出出口から手を入れない
- ③緊急停止ボタンの位置確認

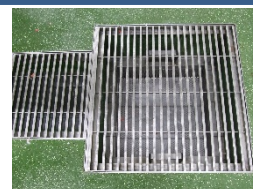
2. 【非定常作業削減のための設備管理基準】

- 労働災害につながりやすい機械の修理や調整作業を減らすために、機械ごとに管理基準を作成しています。
- 当社の機械・設備にはすべて「近接スイッチ」が付いていますが、非常停止ボタンの作動確認も管理基準に含まれており、必ず点検しています。
- 機械点検は、教育も兼ねて指導者と作業者がペアで実施しています。手順や方法だけでなく、機械の特性などを確実に若手に伝達しています。

[illegible]

3. 【滑りにくい床やグレーチングの採用】

- ヒヤリハット活動で職場内の危険を従業員に挙げてもらい、対策を順次実施しています。
- 転倒は段差表示、防滑靴の支給、滑りにくいグレーチングや床材の変更、改修などの対策を行いました。防滑靴は時々、靴底がすり減っていないか確認しています。
- また、筋力向上の自己啓発のため参考書籍の貸出を行っています。



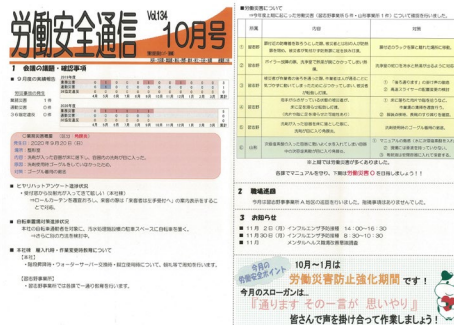
4. 【非常停止ボタンの移設、インターロッキング】

- リスクアセスメントではさまれ・巻き込まれ災害にリスクの高い危険源を抽出しました。
- 作業中に巻き込まれやすいポイントから非常停止ボタンに手が届かない場合は、ボタンの位置を移設しました。
- 巻き込まれる恐れがある機械には、センサーなど手や体を出すと自動停止する仕組みになっています。



5. 【表彰制度】

- 毎年8月に、安全スローガンの募集をしています。スローガンに選出されたら、自社商品のお肉1kgを進呈していて、たくさん提出してもらえるようになりました。
- スローガンと併せてヒヤリハットも提出してもらおうようにしたことで、多くの職場のリスクを集めることもでき、安全について従業員が考えるいい機会になっています。



安全の成果

- 教育による安全意識の向上と、客観的な評価による安全の取組みに対するモチベーション向上で、労働安全活動が活発化し、労働災害は減ってきている。

副次的効果

- 工場見学した生協職員や生協組合員から労働安全の取組みを評価され、従業員のモチベーションが上がった。
- 生協職員は、工場の取組みを営業活動でPRし、継続的に売上が増えている。
- 工場見学した組合員がSNSなどでPRした結果、企業イメージが向上している。
- 職場環境や社内風土が良くなり、離職する人が減っている。
- 設備管理の取組みで、設備故障件数が減り、生産性や歩留が向上した。

取材年月：2020年10月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。